



楽しく遊べる公園をめざして

意見の中から実施可能な事業を検討

11月28日(土)、トマムコミュニティセンターで『第3回トマム地区公園ワークショップ』が開催されました。今回のワークショップでは、トマム地区公園整備の経過を確認し、来年度以降の整備内容を検討しました。

当日は子どもたちも参加し、大人と一緒に現地の確認を行った後、「公園でやりたいこと」「そのために必要なこと」などを話し合い、公園づくりについて様々な意見が出されました。

今後も住民活動として進めてまいりますのでご協力をお願いいたします。



カレー好き一押しのお見事優勝!

81店舗の中からお見事優勝!

北海道ご当地カレーエリアネットワークが主催する『カレーアイランド北海道スタンプラリー2020』において、『参加者が選ぶ一押しのお店部門』でレストラン『メープル』が優勝しました。

『メープル』を経営する金子恭士さんは、「森の恵みしむかっぶ村山菜カレーが、ようやく日の目を見ました。日高町や千歳市から訪問してくれるお客様もおり、注目されて本当に嬉しいです。今後はそばなどの新しいメニューにも挑戦してみたいです。」と、笑顔で話してくれました。誠にありがとうございます。



中央小学校「熊の学校」開催

ヒグマの動向や遭遇時の対応など幅広く学習

11月18日(水)、中央小学校の1・2年学級にて、村の野生鳥獣専門員を講師に迎え、ヒグマについて学ぶ授業が行われました。基本的な分類、形態、生態に始まり、地域のヒグマの動向、農業被害、遭遇時の対応など身近な事柄まで、幅広く学習しました。

地図を使った学習では、出現地点の分布の意味や、人との関わりについて、児童らが自発的に気付いたり考えたりする場面もあり、一村民たる頼もしさを感じられました。また、毛色の多彩さや爪や歯の力強さ、子熊の可愛らしさに驚き、森の中での注意の払い方を練習し、楽しみつつも真剣に取り組みました。



地域の防災リーダーの育成

一人ひとりが防災を意識し適切な行動を

11月14日(土)、富良野文化センターで『令和2年度北海道地域防災マスター認定研修会』が開催され、占冠消防団員が同研修会に参加しました。

受講者は、共助の重要性や自主防災組織の活動内容、大規模災害時における心理状態などについて学びました。緊急時は、『自分は大丈夫』という正常性バイアスが働きます。危険が増していることに気づかず適切な行動が取れない場合、逃げ遅れてしまうことも予想されます。平常時から、緊急時に取るべき行動内容を考えておくことが大切です。



学習発表会プログラム

児童一人ひとりが自分の役をしっかりとこなす

11月25日(水)から3日間にわたり、占冠中央小学校で『令和2年度占冠中央小学校 学習発表会』が開催されました。

1・2年生の「まほうつかいの友だち」、3・4年生の「西遊記」、5・6年生の「ライオンキング」などの劇のほか、音楽やダンス、一輪車走行などが発表されました。

発表当日まで一生懸命練習を重ねてきた児童たち。発表を終えた児童たちは、満足感のある笑みを浮かべていました。



可愛く、楽しく、全力で

小さなアイドルたちが会場を盛り上げる

11月21日(土)、村コミュニティプラザで『占冠保育所はっぴょうかい』が開催されました。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防ぐため、会場の収容人数を制限する形での開催となりました。

練習に励み、緊張の面持ちで当日を迎えた子どもたち。ステージの上では、立派な姿を見せてくれました。

カメラを向ける保護者の方に対して、はにかんだ表情で「見ないでよ!」と返す園児。和やかなやり取りに会場では笑いが溢れました。

